

ふるさと 持田を歩く

持田公民館



亀尾神能

西持田町亀尾地区の正月行事「成徳神祭」の神事を起源に、後世、持田神社例大祭の夜の奉納神事として、松井上氏より伝授されたもの。明治初期の神楽舞禁止令により、神職の参列が困難になったのを、地域住民全戸参加による亀尾敬神会にて、氏子を中心に継承。第二次大戦後、神能技能保持者の減少に危機感をいだく会員を中心に、昭和26年、保存会を設立。

亀尾神能は、島根半島地域に隆盛した神事のひとつで、最古といわれる佐陀神能と同系統であるが、独自の色合いを持つといわれている。「八重垣（オチ退治）」の面や衣装は能楽的である。舞楽の祖神とされる天鏡女命（あめのつゆのみこと）を祭神とする持田神社の例大祭（4月24日）の夜の神事として毎年奉納されるほか、10月にもと神能奉納の要請を受け、松江市内の神社に出向くことも多い。（「瀬部松Vol.17」より転載 一部加筆）

※写真提供：石備良由美さん

MOCHIDA 持田へのアクセス

- ◆JR松江駅より約4.8km
- ◆JR松江駅より一畑バス（美保関方面行き）にて持田下車 約2分



持田地区わがまち自慢発掘プロジェクトチーム

持田公民館

〒690-0814 島根県松江市東持田町61番地
TEL (0852) 21-3067 FAX (0852) 21-8770

発行 2012年(平成24)12月

持田の古墳

国道431号を挟む川津・持田地区の水田地帯の周辺部は、島根半島西部の6世紀頃の有数の古墳地帯とされます。

1. 薄井原古墳（すいはらこふん） 前方後方墳で、全長約50m。前方部先端幅23m、びれ部幅18m。後方部幅22m、高さ4.5mです。後方には方向を異にする2つの横穴式石室があり、どちらも長さ約8mほどの片袖式（かたそでし）の横穴式石室で、石棺を置いています。副葬品として須臾器（すえき）、ガラス小玉、直刀、馬具、鉄鏃（てつさ）などが見つかっており、副葬品などから6世紀前半頃の築造と考えられています。昭和37年6月12日に島根県の文化財（史跡）の指定を受けています。（松江市ふるさと文庫「松江市の指定文化財」から一部引用）



2. 太田古墳群 東持田町太田地区内にある1~5号の古墳。1号墳は加佐奈子（かさな）神社本殿裏にあります。石室のふた部分割れて内部に落ち込んでいることから、神社の名前が「笠なし」となったとも言われています。2~5号墳はいずれも近くの民家や畑の根元に点在していますが、すべて墳丘は nearly 完全に露出しています。古墳時代後半、6世紀後半から7世紀初期、この地域を治めた首長のものと考えられます。

※写真提供：松江市教育委員会 文化財課

北山縦走マップ



2 林道出会 (澄水山線、北山線)
東持田方面分岐点。交差点部に駐車スペースがある。



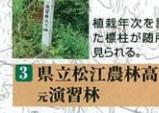
4 指示標とベンチ
随所にあり、歩くのに不安はない。



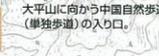
林道北山線(工事中)
開通すれば持田公民館から枕木山まで林道澄水山経由が車で行けるようになる。



3 県立松江農林高校元演習林
種年次を記した標柱が随所に見られる。



6 澄水山分岐点 (車道、歩道分岐点)
大平山に向かう中国自然歩道(単独歩道)の入り口。



7 「助助庵の跡」碑
澄水山分岐点から南側に10m入る。碑銘には「助助庵の跡」と刻記されている。



9 湯谷の湧水
北山農道沿いにある。その場で飲むか水筒にいれる程度の利用は無料。



1 納蔵の白滝
林道澄水山線沿いの東斜面を少し下ったところにある。



10 持田公民館
外付けのトイレ利用可能。隣接する旧小学校跡地に駐車スペースがある。バス停持田から徒歩2分。



8 枕木山駐車場



一般車は林道を通行できないため、ここに駐車。水洗トイレがある。(1~3月閉鎖)

8 枕木山 駐車場



テレビ塔

5 中国自然歩道



小島のさえずり、緑のきらめき。ゆつくり歩こう、私の道。

コースの概要

持田公民館を発着点にした北山縦走コースは全長約25km。枕木山(まくらぎさん)一坂山(みさかやま)一澄水山(しみずさん)一滝空山(たきぞらやま)一大平山(おおひらやま)を結ぶ稜線部(松江北山)は中国自然歩道として整備されており、島根半島

東部の海と山を併せて楽しむことができる。枕木山一澄水山は中国自然歩道と林道が重複、澄水山から車道(林道北山線)と歩道が分岐する。工事中の林道北山線は平成28年度完成予定で、その後は全コースを車で走れることも可能となる。

北山縦走をされる際の注意

マナーを守り安全第一を心がけてください。
 ◎余裕のあるスケジュールを考えてください。
 ◎天候が悪いときは歩行を控えましょう。
 ◎スズメバチに注意。強い毒性と攻撃性をもっています。8月から10月は特に攻撃的になります。巣に近づき刺されないように、ハチが近づいたら手で払ったり、大声を出したりせず静かに離れましょう。ハチはかき寄ってくるので、もしもの時は頭をバグやタオルで覆って逃げましょう。

【この地図は、国土院測量院の承認を得て、同院発行の敷地測量25000(868000)を複製したものである。(承認番号 平24農第 第396号)】

西持田

① 和田石燈籠 (持田公民館から約1000m)

昭和3(1928)年、持田神社造営を記念して献灯されたもの。来待石で造られ、高さ6m、周囲2mで、今も西持田の道しるべとなっています。

② 洞泉寺 (とうせんじ)

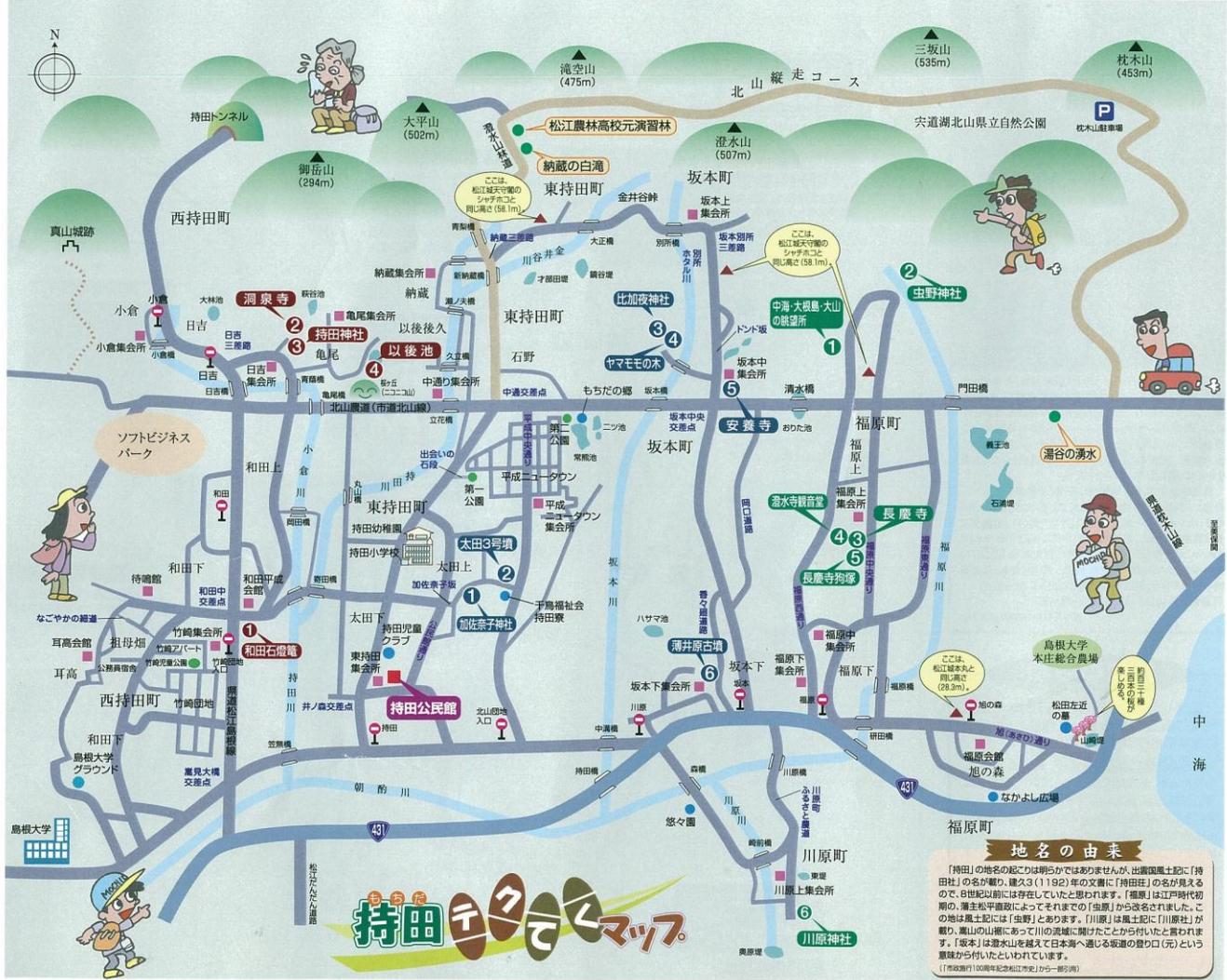
本尊は延命地藏菩薩。慶安2(1649)年、曹洞宗清光院3世高岩徳大和尚の開山で、清光院(外中町)の末寺です。境内に鳥根丸22番札所日吉堂があります。本尊は聖観音像(白鹿城築城のとき落命した丸山権太左衛門の霊を祀ったものと言われる)も安置されています。

③ 持田神社 (もちたじんじや)

主祭神は、天孫女命(あめのみこと)、大直比賣命(おほなほひめのみこと)、孫田彦命(まごたひこのみこと)、天太玉命(あまのたまのみこと)の4柱です。出雲風土記に「持田」とあり、天平5(733)年以前の創立が明らかです。西持田の産土神で、虫除祈禱の社。合祀された丸山神社は脳病・頭痛平癒の社とされています。氏子による亀尾神社が保存伝承されています。例大祭は4月24日。

④ 以後池 (いごいけ)

四季折々、周囲を覆うほどの樹木が水面に映える景色は、静けさの中にやすぎを与えてくれます。



持田テクテクマップ

東持田・坂本

① 加佐奈子神社 (持田公民館から約200m)

主祭神は素戔嗚尊(すさのおのみこと)。出雲風土記に記されていることから、天平5(733)年以前の創立が明らかな古社です。一庵法師を建てた著名な大工石川政右衛門(坂本町)作の見事な彫刻が拝殿虹梁にあります。太平洋戦争末期、米軍機の爆撃下に遭い、避難中の児童が負傷し、柱にも今に残る傷がつけました。境内には太田古墳1号墳があります。例大祭は10月26日。

② 太田3号古墳 (非表面参照)

2700m(北山公園道経由) 5300m(金井谷道経由)

③ 比加夜神社 (ひかやじんじや)

主祭神は、御祖皇孫不合尊(おつひらのあまのあそのみこと)。出雲風土記に「比加夜」と記され、天平5(733)年以前の創立とされる古社。社殿は大社造の。古くから人民産婦守護、安産の神、家産・産婦守護の神として尊崇されています。例大祭は10月15日。

④ 比加夜神社ヤマモモの木

学術的に鳥根丸島が北限とされる温帯性常緑樹。樹齢200年之久と推定され、昭和54年に松江市の天然記念物の指定を受けています。高さ8.5m、周囲2.6mの太木です。

⑤ 安養寺 (あんやうじ)

永禄9(1566)年尼子氏家臣小栗弥富之祐の開基と推定されています。寛延(1748~1751)の頃、良瑞という旅僧が堂庵を修復、構築したと横川にあり。本尊阿弥如来像は天保年間(1830~1844)に招来したとされています。曹洞宗洞岳寺(奥谷町)の末刹です。

⑥ 薄井原古墳 (うすいばらこふん)

非表面参照

福原・川原コース

① 中海・大根島・大山の眺望所 (福原(大塚)から1000m)

視界におさまる三者の配置が絶妙で、眺めていて飽きない景色です。いつか自然と一丸になっている自分を感じて心が落ち着くお気に入りの場所です。

② 虫野神社 (むしのじんじや)

古くは虫大明神と称されていました。出雲風土記に「虫野社」と記されており、天平5(733)年以前の創立です。虫原と言った神社近郊の地域で悪虫が田を荒らしたのを、主祭神である大穴貴命(おほあなのみこと)が運ばしたとされています。大正5(1916)年、旧持田村で最初に遷祀に列せられた由緒ある神社です。例大祭は10月14日。

③ 長慶寺 (ちやうけいじ)

曹洞宗清安寺(本庄町)の末寺で、慶長2(1597)年清安寺4世少堂盛林和尚の開基です。本尊十一面観音は平安時代の仏師定朝の作です。

④ 澄水寺観音堂 (ちよすいじいかなどら)

出雲札25番札所。本尊は十一面千手観音で、行基作と伝わっていますが、実際は室町時代のものでされています。もとは澄水山(みづのうみ)にあった澄水寺の観音堂を、明治7(1874)年長慶寺境内に移築しました。大衆美術的な建築様式です。

⑤ 狗塚 (いぬづか)

長慶寺門前にある供養塚。明暦年中(1655~57)に松江藩主松平直政公がここで遊覧狩りをした際、醫生4名の愛犬のために供養を依頼したと伝えられています。数犬の名を刻んだ位牌が長慶寺にあります。

⑥ 川原神社 (かわはらじんじや)

主祭神は伊弉諾尊(いざののみこと)・伊弉册命(いさのみこと)。出雲風土記に「川原」と記されており、天平5(733)年以前に創立された古社です。境内には伊弉・素戔嗚尊を祀る樹の古木があります。例大祭は10月9日。